

# 選挙権年齢の引下げ ～20歳から18歳へ～

平成28年6月19日から、「満20歳以上」から「満18歳以上」へと選挙権年齢が引き下げられました。

選挙権年齢の引下げは、昭和20年(1945年)以来、約70年ぶりの歴史的なできごとです。

中学3年生も、  
あと3年で  
投票できるようになるんだね!



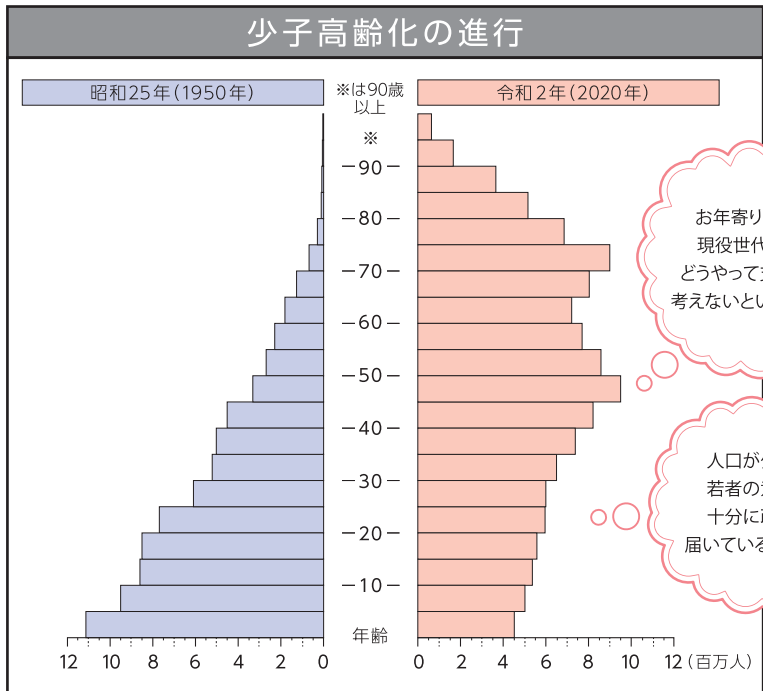
なぜ引き下げられることになったのかな?

選挙権年齢の引下げは世界の流れに沿ったもの

少子高齢化が進む中、より多くの若者の政治参加が必要

各国の選挙権年齢(抜粋)	
21歳	オマーン、クウェート、シンガポール など
20歳	カメルーン など
19歳	韓国
18歳	日本、米国、英国、イタリア、オーストラリア、カナダ、ドイツ、フランス、ロシア など
17歳	東ティモール など
16歳	アルゼンチン、オーストリア、キューバ、ブラジル など

(国立国会図書館令和2年調べ)



(総務省統計局「国勢調査報告」より)

現在、海外では選挙権年齢が18歳以上の国が主流になっています。

選挙権年齢の引下げにより、約200万人余り(静岡県では約7万人)の若者が新たに選挙権を得ることになりました。